

働き方改革の本気度を示す～全員にわかりやすく服装自由化へ～

三洋化成工業株式会社
(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、社長:安藤孝夫)は、全従業員が誇りを持ち、働きがいを感じる企業を目指し、第10次中期経営計画のスローガンである「変える。」のもと、働き方改革の本丸である意識改革の本気度を示すべく、本年8月20日より従業員の服装自由化を取り入れました。

当社では、「変える。」をスローガンに、多様な人材が、多様な働き方・考え方でモチベーション高く働けるよう、従来を正とせず各種制度の見直しや規制緩和等に取り組んでいます。今回、これまでの『仕事はスーツやYシャツで行うもの』という、暗黙の了解を払拭し、従業員一人ひとりが各自の判断で自由な服装を着用できるよう、服装自由化を決定したものです。また、従業員が「変える。」ことを実践しやすくするため、社長自らが率先して服装の自由化を取り入れ、働き方改革への本気度を示すとともに、従業員へ「変える。」意識の浸透を図ってまいります。



写真：社長出社時（左）、社長室にて（右）

経営トップが働き方改革を経営重点事項と位置づけ、人事部や業務革新推進チームが主体となり、抜本的な意識改革や「業務革新・業務効率化・働き方改革」を推進してきました。

制度面では、勤務時間を自主的に設定するフレックスタイム制度やより柔軟性の高いスーパーフレックスタイム制度を導入、時間意識の向上や効率的な働き方の実践に効果を発揮してきました。加えて、一時間単位で有給休暇を取得できる時間単位有給休暇制度の導入や、男性の育児参画を推進する育児休業制度の拡張、ベビーシッター・病児保育費用補助制度の導入など、ワーク・ライフバランスの実現、多様な働き方の実現に向け様々な取り組みを推進してきました。さらには、2018年3月、女性事務服の廃止を決定するなど、多様な働き方の推進を強化しています。

また、運営面においても、従業員がイントラネットを通して社長・役員に直接提案できるe-POST制度の導入や、改革をより一層推進するべく、社長直轄の働き方改革プロジェクトを発足するなど、活動の範囲を広げています。

今回の服装自由化では、研究開発(実験)や工場内作業時など、安全衛生上必要な場合においてはユニフォームを着用、お客様への訪問時などはTPOに合わせた服装とし、それ以外においては、服装を自由化することで過去の習慣に囚われない自由な発想を生み出す風土醸成へとつながることを期待しています。

当社では、引き続き第10次中期経営計画に掲げる「変える。」のスローガンのもと、多様な人材が、多様な働き方・考え方でモチベーション高く働けるよう、各種制度の思い切った見直しや規制緩和等、取り組んでまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>
三洋化成工業株式会社 広報部
電話 075-541-4312